

<報道発表資料>

令和 7 年 3 月 3 1 日
京都市環境政策局地球温暖化対策室
産業観光局観光 M I C E 推進室
京都観光推進協議会

修学旅行向け S D G s 探究学習プログラム ホームページ「Q 都スタディトリップ」に 脱炭素特集ページを新設

京都観光推進協議会（事務局：観光 MICE 推進室）が運用する SDGs に関する探究学習プログラム「なんで？がいっぱい、京都と学ぶ SDGs『Q 都スタディトリップ』」のホームページにおいて、EV タクシーを使って京都らしい脱炭素を学べる訪問先を巡る体験プログラムを紹介する特集ページを新設します。

【背景】

京都市では、国が進める「脱炭素先行地域^{※1}」に選定され、「京都の文化・暮らしの脱炭素で地域力を向上させるゼロカーボン古都モデル」の創出に取り組んでいます。

本市の脱炭素先行地域の取組として、サステナブルツーリズムワーキンググループ^{※2}では、修学旅行生が脱炭素転換した寺社・大学等を EV タクシーで巡って学ぶ体験型学習ツアーの企画、京都らしい脱炭素アクションを体験できる修学旅行のコンテンツ造成などについて、検討してきました。

※1 2050 年カーボンニュートラルに向け、2030 年度までに民生部門（家庭・業務部門）の電力消費に伴う CO2 排出実質ゼロを目指す地域

(<https://zerocarbonkyoto.city.kyoto.lg.jp/>)

※2 京都市脱炭素先行地域計画に基づく取組を主体的に実施するため、（学）立命館、（公社）京都市観光協会、エムケイホールディングス（株）、（公財）京都文化交流コンベンションビューロー、京阪ホールディングス（株）、（株）JTB で構成される。



脱炭素特集ページ
二次元コード

脱炭素特集ページ URL：<https://q-sdgs.kyoto.travel/zero-carbon/>

※ Q 都スタディトリップ HP 内において、3 月 3 1 日（月）午前 1 0 時から御覧いただけます。

【特集ページ概要】

● 脱炭素版「Q スポット」

「なんでだろう？」という問いを切り口に、大学、寺社、ものづくり、食、環境学習

施設において、脱炭素転換を進める取組や体験できることを紹介しています。また、施設毎にインタビュー記事や探究を深めるミッションを掲載し、修学旅行生自らが探究を深める工夫をしています。

(各 Q スポットにおける問い)

- 大学：立命館大学「なんで先生も学生も職員も脱炭素に取り組むの？」
- 寺社：壬生寺「なんでお寺が地域コミュニティの核になっているの？」
- ものづくり：京都伝統産業ミュージアム「なんで伝統工芸品は地球環境にやさしいの？」
- 食：KYOTO VEGAN「なんでヴィーガンは動物や環境、人にやさしいの？」
- 環境学習施設：京エコロジーセンター「なんで買い物脱炭素につながるの？」

● 脱炭素特集ページの使い方

修学旅行先やオンラインなど場所を問わず旅前・旅中・旅後など様々な場面で活用できます。以下は、活用方法の一例であり、部分的な活用も可能です。

また、どのようなアクションが脱炭素につながるかを実際にスポットを訪問して「考え」、家に帰ってから「やってみる」ための補助ツールとして「脱炭素アクションシート」を無料でダウンロードして、御利用いただけます。

旅前 京都と学ぶ「脱炭素特集ページ」を使って探究



旅中 京都に着いたら、脱炭素の Q スポットに行く



旅後 脱炭素アクションシートを用いて旅の学びを、みんなで振り返る



【体験プログラムの予約方法】

● Q スポットの訪問予約について

訪問予約は、各 Q スポットに掲載している注意事項に基づいて行ってください。

● EV タクシーの貸切予約について

修学旅行の場合：旅行代理店にお問い合わせください。

修学旅行以外の場合：エムケイ(株)外商部 (gaisyo@mk-group.co.jp) にお問い合わせください。

<お問合せ先>

脱炭素特集ページに関するお問合せ先

京都市環境政策局地球温暖化対策室

電話：075-222-4555

Q都スタディトリップに関するお問合せ先

京都市産業観光局観光MICE推進室

電話：075-746-2255